

## ハワイ・ワイコロア・ビレッジ

足立 潔 史

ワイコロア・ビレッジはハワイ島の北西部、南コハラ地区に開かれたリゾート・エリアで、コナ飛行場から車で30分、コナからだ約1時間弱で到着する。このあたりは、マウナ・ケアを越えた東貿易風が、乾いた空気を運び、ハワイの中で最も雨量の少ない地区である。

ビレッジの中にあるワイコロア・ビレッジ・ゴルフコースが、現地当局の定める日食観測グループ収容所であった。どのような経緯でそういう事になったのか知らないが、JTB、読売旅行をはじめとする大ログループは、皆このゴルフ場に詰め込まれていた。ゴルフ場の芝の上という事で足場は良いが、周囲に民家と道路の街燈が近く、決して日食観測の最適地とは言えない。しかし、総勢千数百名に及ぶ観測者が島内を勝手に移動したのでは、当局としても治安管理ができないであろうし、数百名単位でツアーを組んだ旅行者も、お客をバラバラにする訳にもいかず、管理側からすれば、これが最善の改善策であったのであろう。事実、ゴルフ場内には水飲場、仮設トイレから夜食の売店、朝食用の大テントのカフェテリアまで用意されていて、これが運動会かサーカス見物だったら、さぞ楽しかった事であろう。しかし、いつも人里離れた僻地での野外観測を旨としている観測者にとっては、このメーデーの日の代々木公園のような有様には、甚だ不満であった。

さらに、何をか言わん、前日まで快晴が続いていた空は、(前日の現地下見は、ゴルフ場のプレーの都合で許されなかった。日食の前日にゴルフなんかするなってのに)当日に限って低い雲が山から湧き上がって東側に見えるはずのマウナ・ケアの稜線も定かでなかった。日の出前から雲は増々多くなり、部分食が厚い雲を通して確認できた。皆既前後は完全に雲の中。4分間はやけに長く感じられる。雲で散乱した光がまわり込むのか、皆既中何もしないでボンヤリしているせい、皆既前に太陽の光を見なかったせい、あたりは割に明かるい。それでも、本影錐が東に去って行くのが雲の明暗となってわかる。皮肉な事に、第4接触が過ぎた頃太陽高度も上がり、気温が高くなり、雲は消え始めて南国の青空が広がっていった。